



スマイルだより 7月号

病児病後児保育所スマイル

令和7年7月1日

0551-23-4507

本格的な夏の到来となりました。プールや水遊びにぴったりの季節ですね。大好きな夏のあそびを楽しむためにも心掛けたいのが十分な栄養と睡眠の確保です。早寝早起き朝ごはんを心掛け、夏の暑さにも負けない丈夫な体づくりをしましょう。また、梅雨のころから夏の間は、熱中症や脱水になりやすい季節です。冷房の利いた涼しい場所だと体は暑くならないため、脱水症状に気がつきにくくなります。子ども達だけでなく、ご家族も一緒に水分をこまめにとって過ごして下さいね。

子どもの皮膚病

乳児の皮膚はバリア機能が未熟で外からの刺激を受けやすく、トラブルも少なくありません。水あそびのシーズンが始まる前に子どもがかかりやすい皮膚病を知っておきましょう。

とびひ

水泡ができるタイプとかさぶたができるタイプがある。伝染性が強く、皮膚からの滲出液が皮膚のほかの部位につくと、そこに症状が生じる。

アトピー性皮膚炎

皮膚に様々な刺激が加わりアレルギー反応として生じる、強い痒みを伴う慢性の湿疹。清潔と保湿が必要。

水いぼ

誰もがかかる病気。小さな白いブツツツしたいぼができ、それが潰れて中の液が飛散するとほかの部位にできるため体全体に広がることもある。治療は必要ない病気とされている。

おむつかぶれ

便や尿の成分が刺激となり皮膚がかぶれて赤くなる。カンジタという真菌感染が原因の場合も。

虫刺されかきこわし

痒みが生じた際に、かきむしって出来た小さな傷口から細菌に感染すると化膿して痛みが生じる。そのままとびひとなって広がることもあるため、早めに受診を。

あせも

汗をかきやすい所に赤いブツツツができる。かいて皮膚に傷が出来ると細菌に感染してとびひになることもある。

水遊びNGなのは3つ（細菌性の病気）

とびひ 水分を介してうつるわけではないですが、染み出る体液に触れることで感染するため、裸で接触する機会が多い水遊びは治るまでは参加できません。

ひょうそ・虫刺されかきこわし 悪化の恐れがあるため控えましょう。皮膚用防水シートを使用すればOKなことも。

※水遊びに参加できる条件は園によって異なるので確認しましょう。

その他

水虫・あたまじらみ・ひょうそ



おねがい

スマイルでは発熱・発汗で脱水症状になりやすいため、こまめに水分補給をしています。水筒だけでは足りなくなることもありますので、水筒以外にペットボトルなど多めに水分を持たせてください。

6月の利用状況

- ・感染性胃腸炎
- ・急性上気道炎
- ・アデノウィルス感染症

例年の6月に比べて利用児の少ない月となりました。